

我義経が幽霊なるが  
瞋恚にひかるる妄執にて  
なお西海の浪に漂ひ  
生死の海に沈淪せり

令和五年 七宝会

# 出苗公演

春の水辺

なえいづるこうえん

唐衣着つつ馴れにし妻しあれば  
遙々きぬる旅をしぞ思ふ

最も古唄にして、  
最もアヴァンギャルドな芸能  
能楽をみなさまに

## 七宝会

●昼の部

舞囃子「忠度」辰巳 孝弥

能「杜若」辰巳 和磨

●夜の部

狂言「鞍馬参り」善竹 隆平

能「八島」澤田 宏司

◆四月二十八日(金)

昼の部 十五時開演 夜の部 十八時開演

◆枚方市総合文化芸術センター 本館

関西医大 小ホール



令和五年 七宝会 出苗公演 春の水辺 七宝会

なえいづるこうえん

七宝会

【一番組】

○昼の部 十五時開演

舞囃子「忠度」

平 忠度 辰巳 孝弥 大鼓 森山 泰幸

小鼓 荒木 建作

笛 赤井 啓三

能「杜若」

杜若の精 辰巳 和磨 大鼓 森山 泰幸  
 旅 僧 広谷 和夫 小鼓 荒木 建作  
 木鼓 中田 弘美  
 笛 赤井 啓三

●夜の部 十八時開演

狂言「鞍馬参り」

太郎冠者 善竹 隆平 主人 小西 玲央

能「八島」

老翁 源義経の霊 澤田 宏司 大鼓 大村 滋二  
 老翁の共 石黒 空 小鼓 吉阪 一郎  
 旅 僧 喜多 雅人 笛 森田 啓子  
 従 僧 中村 宜成  
 所の者 善竹 隆司

【解説】

◇舞囃子「忠度」 ただのり  
 面装束を付けず紋付袴で一曲の見所を舞う舞囃子。忠度の亡霊が現れ自分の歌が「詠み人知らず」として千載集に入っているのを嘆き、作者名を入れるよう、俊成の子の藤原定家に伝えてほしい、と頼む。その後一谷の合戦で討ち死にした様子を表し、僧に回向を頼み、桜の木の下へと帰っていく場面を舞う。

◇能「杜若」 かきつばた  
 旅の僧が三河国八橋にさしかかり、美しく咲いている杜若を眺めていると、そこへ一人の女が現れ、この地はかつて在原業平が「かきつばた」の五文字を句の上に置き、「からころも(唐衣)き(着)つつ馴れにしつ(妻)しあればはるばる(遙々)きぬるたび(旅)をしぞ思ふ」と旅の心を詠んだ杜若の名所であると教える。  
 やがて日も暮れ、一夜の宿を貸そうと庵に案内する。業平と高子の後の形見の装束を身にまとい、自分は杜若の精であり、菩薩の化身である業平の歌に詠まれたことで救われる身となったことを明かす。そして伊勢物語に記された業平の歌を引きながら舞を舞う。  
 やがて夜明けの薄明かりの中へと消えてゆくのだった。

◇狂言「鞍馬参り」 くらままり  
 初寅の日に主人の供で鞍馬参りに出かけた太郎冠者は、通夜(おこもり)をするうちに夢で多聞天(毘沙門)から「福ありの実(梨)」を授かる。帰る道すがら太郎冠者が主人に夢の話をする。主人はこれを自分のものにしてしよう、と「自分も同じく霊夢を見たが、冠者に渡したから帰りに受取れと仰せられた」といって御福を渡すように言うが…。

◇能「八島」 やしま  
 旅の僧が讃岐国八島浦を訪れると、老漁師と出会う。老翁は、僧が都の人と知って快く宿を貸し、僧の求めに応じて昔の源平合戦の様子を物語る。その余りの詳しさに不審がる僧たちに、老翁は自らが源義経の霊であることをほのめかすと、姿を消すのであった。  
 その夜、僧の夢枕に義経の幽霊が現れる。義経は、八島の合戦で不覚にも海へ流した弓を取り戻した過去を語り、修羅道の凄まじい戦いに駆られる様子を見せるうちに夜が明けて、僧の夢は覚め亡霊は消えてゆく。

◆令和五年 七宝会年間会員について

- 年会費 20,000円
- 「8枚の指定券付き」 ※1回の公演に3席までとさせていただきます。
- 発売・予約開始は、会員は60日前(一般は50日前より)。(先行予約でお申し込みください)
- 年度途中からでも会員に申し込みいただけます。

※防疫対策、席数制限など感染症対策をしております。

お問合せ・チケットお申し込み先

宝生流 七宝会

〒572-0009  
 大阪府寝屋川市末広町11-8 辰巳方  
 TEL 072-831-3206  
 FAX 072-832-5115

会場のご案内



枚方市総合文化芸術センター 本館  
 関西医大 小ホール  
 大阪府枚方市新町2-1-60  
 京阪電車「枚方市」駅から徒歩約5分

◆スマホ解説

「衆我財団」様の支援事業として、お客様ご自身のスマホをお使いいただき、ご自身のイヤホンで解説をお聴きいただけるサービス提供が開始されました。ご希望の方はスマホとイヤホンをご持参のうえ、ご体験くださいませ。

●割引になるほか、昼夜通しのお客様と会員様には昼夜間の時間に「能楽師とともに様々な体験」をしていただけることとなります。

(事前申込制 先着順)

〈昼夜通し〉指定席 6,000円 自由席 4,000円

◆料金 昼の部、夜の部それぞれ指定席 4,000円 自由席 3,000円  
 学生 1,500円

◆日時 令和五年 四月二十八日(金)

昼の部 十五時開演 夜の部 十八時開演

◆会場 枚方市総合文化芸術センター 本館 関西医大 小ホール

〒573-1191 大阪府枚方市新町2-1-60